



平成29年8月4日

海上保安庁

JICA 研修員が宮城県内の東日本大震災の被災地を訪問 ～災害時の水路測量を学ぶ～

海図作成のための測量技術等の習得を目的として、5カ国から来日しているJICA研修員が8月17日から18日にかけて宮城県内の東日本大震災の被災地を訪問します。

被災港湾の復興状況や最先端の自然災害研究について学んだ知識は、母国での災害対策に役立てられます。

海図作成のための測量技術等の習得を目的として来日中の、各国の水路業務機関の測量技術者（5カ国10名）が、8月17日から18日にかけて東日本大震災の被災地を訪問し、石巻港、女川港の被災及び復興の状況や、東北大学災害科学国際研究所における最先端の自然災害研究について学びます。

ひとたび、津波や高潮などの災害が起きると、港湾に多数の漂流物や海底障害物が発生するため、海域を調査する水路測量を通じて緊急物資の輸送経路を確保し船舶を安全に入港させることが、応急復旧活動として極めて重要となります。被災地の訪問で得た知識を通じて、研修員は災害対策の分野でも母国で活躍されることが期待されます。

○見学スケジュール（石巻港及び女川港見学ルートの詳細は別紙）

日 時	見 学 先
8月17日(木) 12:10～13:40	石巻港見学
〃 14:10～15:10	女川港見学
8月18日(金) 10:00～12:00	東北大学災害科学国際研究所訪問

○今年度の研修員（5カ国10名）

エルサルバドル2名、インドネシア4名、マレーシア1名、フィリピン1名、ウクライナ2名

※研修全体の概要については、6月23日広報資料（別添）を参照。

○昨年の見学の様子



女川港で震災時の説明を受ける研修員



ガイドから説明を受ける研修員

(別紙)

石巻港及び女川港見学では、地元ボランティアガイドから海外研修員に対して震災当時の被災状況や復興の様子について説明が行われます。取材を希望される社は、**8月16日(水)15時まで**に、下記取材申し込み先まで、電話又はFAX(下記申し込み用紙)により、申し込み下さい。

○ 8月17日(木) 石巻港、女川港における見学ルート(予定)

・ 石巻港(主にバス車内からの見学、一部下車しての見学を予定)

12:10 石巻駅南口出発→大街道地区、工業港地区、石巻魚市場→雲雀野地区ガレキ積載場所→門脇小学校跡地(下車、取材可能)→13:40 石巻駅南口着、見学終了

・ 女川港(主にバス車内からの見学、一部下車しての見学を予定)

14:10 きぼうのかね商店街出発→女川町地域医療センター付近高台(下車、取材可能)→女川町内→15:10 きぼうのかね商店街着、見学終了

[取材申し込み用紙]

申し込み先

海上保安庁海洋情報部技術・国際課

国際業務室

FAX 03-3595-3626

電話 03-3595-3605

件名 : JICA課題別研修の取材申し込み

会社名

氏名

電話番号

FAX番号

【別添】



平成29年6月23日

海上保安庁

JICA 課題別研修(水路測量技術者養成の国際認定コース)開催について

～ 本研修を通じて世界の航海安全に貢献しています ～

海上保安庁では、平成29年6月26日～12月15日の間、独立行政法人国際協力機構(JICA)と協力し、開発途上国で水路測量に従事する技術者を対象とした海図作成能力向上のための研修を開催します。

本研修は、JICAが実施する本邦研修の中で国際的な資格が取得できる唯一の研修で、本研修を修了した研修員には、水路測量国際B級資格が付与されます。修了生の多くは世界各国の水路当局の幹部として活躍しています。

海上保安庁は、本研修を通じ開発途上国の海図作成能力を向上させることで、世界の航海安全に貢献しています。

1 日程

平成29年6月26日(月)～12月15日(金) (詳細は別紙参照)

2 研修参加予定者(6カ国10名) ※下線は初参加国

マレーシア1名、ウクライナ2名、インドネシア4名、フィリピン1名、

エルサルバドル2名

※ 本研修は、昭和46年から毎年実施しており、今年で47回目の開催となります。これまでに42ヶ国から421名の修了生を輩出し、開発途上国の能力向上に貢献しています。また、修了生の多くがタイ、フィリピン、マレーシアなど各国水路当局で要職を務めており、地域内・地域間の国際的な協力関係の強化にも大きな役割を果たしています(別紙参照)。

3 主なカリキュラム

- (1) 海図作成に必要な理論及び実務に関する講義(測地学、潮汐、水深測量等)
- (2) 海図作成に必要なデータ収集のための港湾測量実習(大分県別府港)
- (3) 海上保安庁測量船による洋上実習(駿河湾) *乗船取材可

4 取材申し込み

各種実習を含め、研修期間中随時取材を受け付けております。別紙のスケジュールをご参照いただき、取材を希望される場合は、下記までご連絡下さい。

海上保安庁海洋情報部技術・国際課国際業務室 電話:03-3595-3605 ファックス:03-3595-3627

○主な研修スケジュール（予定）

実施予定日	実施予定場所	内容
6月29日（木）	海上保安庁海洋情報部	海洋情報部長表敬
6月30日（金）	海上保安庁海洋情報部	研修員カントリーレポート発表会
8月17日（木）～18日（金）	宮城県	東日本大震災被災港視察及び 東北大学災害科学国際研究所 見学
9月26日（火）～10月26日（木）	大分県別府港	港湾測量実習
11月22日（水）～23日（木）	駿河湾	測量船による洋上実習
12月14日（木）	JICA 東京国際センター	閉講式

※上記以外の期間は、主に海図作成に必要な理論及び実務に関する講義を予定しています。

【参考】

○水路測量国際B級資格

各国の教育機関が実施する水路測量技術者養成コースに対し、水路測量等の国際基準を定める国際委員会（IBSC）により認定される資格で、国際A級、国際B級の2つに分かれます。

国際B級は、水路測量を全般にわたり実施可能な実務レベルの技術者の養成を目標としています。（国際B級のコースは世界で26カ国30コースあります（平成29年3月時点）。）

○本研修に参加した主な各国水路当局要職経験者

研修参加年	名前	役職
1972年	First Admiral Mohd Rasip bin Hassan	元マレーシア水路部長
1981年	Vice Admiral Supote Klangvichit	元タイ水路部長
1983年	Vice Admiral Charin Boonmoh	現タイ水路部長
1985年	Commodore Romeo I. Ho	前フィリピン水路部長
1987年	Rear Admiral Dato's Fadzilah Bin Mohd Salleh	現マレーシア水路部長
1990年	Mr. Efren P. Carandang	現フィリピン地図資源情報庁次長
1991年	Rear Admiral Zaa'im bin Hasan	元マレーシア水路部長
1994年	Commodore Muhammad Arshad	現パキスタン水路部長

○2016年に実施した研修の風景



港湾測量実習（別府港）



測量船洋上実習（駿河湾）